



BikeBros. プレゼンツ

RIDING Dr. 皆木のバイクプロス

BikeBros. Riding School



こんにちは、ライディング
Dr.皆木です(^^)/

最高の天気の中で行われた
今年3回目のスクールテーマは、

「使えるブレーキ その1」です(^^)/

「ブレーキ」は命を守ります。そしてコーナリングの起点ともなるのでオートバイの操作の中で一番大切なんですね。にもかかわらずライダーとマシンに大きな慣性が掛かるためとっても難しい操作とも言われています。しかしこのブレーキングという山を乗り越えなければ気持ちのいい風景は見られません!! 高い山ですが昇り詰めた時の満足感とそこから始まる安全なスポーツライディングのために一歩一歩昇っていきましょう!

ではここでブレーキングクイズです!!

問題01

フロントブレーキと
リアブレーキどちらが
使いやすい?

正解 フロントブレーキ

リアブレーキと答えた方は、フロントブレーキの良さが感じられるレベルに達していないと言えます。フロントブレーキのよさは、制動距離が短い、ロックしにくい、ターンのきつかけに必要…など色々です。まずはサーキットスクールでフルブレーキングが出来るようになります。フルブレーキが出来ると思ったら不思議!? バイクに乗る事自体に自信がつけちゃいます(^^)/

問題02

ブレーキはカチッとして
いけばしているほど
いいブレーキだ!

正解 イイエ

本当にいいブレーキはコントロールがしやすいブレーキです。カチッとしたブレーキは効き始めてからタイヤがロックするまでの「有効な握り幅」が少なすぎて力の調整が難しくなります。ブレーキシステムが貧弱だった時代はノーマルのブレーキホースからステンメッシュのホースに交換するのが定番でしたが、油圧ロスが少なくなった今の車両はノーマルホースの方が断然使いやすいという事も多いんですよ(^^)/

問題03

ブレーキレバーの
位置は、すぐにかけるように
遠くに位置するべきだ。

正解 イイエ

指の第一関節の辺りでかけられるように調整しているライダーをよく見かけますが、「問題1」と同じ理由でそれでは力が入りづらくコントロールが来ません。第二関節の辺りでしっかりブレーキをかけるように調整しましょう。そして危険が予測される場所では常に指をレバーにかけておきましょう。またソフトダウン時にブレーキをかけながらアクセルをあるテクニックがありますが(エンジンブレーキをコントロールするため)、正しいブレーキレバーではブレーキ入力が変わってしまうので上手くいきませんね(+o+)

問題04

最高のハード
ブレーキングは
ジャックナイフの状態だ。

正解 イイエ

車体が不安定になり、それ以上のコントロールが出来ないでいい状態とはいえませんね(^^) またこの問題の真意ですが、同じブレーキ入力をした場合でもジャックナイフ状態になるライダーとならないライダーがいるのです。ジャックナイフにいいライダーの特徴は「前のめりになっておらず、ハンドルではなく下半身に慣性に耐えている」そして「シートに荷重を残している」状態です。その状態になるためには下半身のホールドと骨盤や腰筋の使い方が重要になります。

こんなに大切なブレーキですが、普段ブレーキの練習をしているというライダーを僕は知りません(笑)。…という事は上達する訳はありませんね(^^;)。
命を守るブレーキングをサーキットスクールで練習しましょう(^^o^^)!

申込 & お問い合わせ

(※事前のお電話での御予約と申込書が必要になります)

【HSR九州】「BikeBros.ライディングスクール」係 〒869-1231 熊本県菊池郡大津町平川1500
TEL:096-293-1370 URL: <http://www.hsr.jp/>

【RSG】「BikeBros.ライディングスクール」係 〒811-1242 福岡県筑紫郡那珂川町西限4-9-5
TEL:092-951-2299 URL: <http://rsg-sports.com/>
【受講料振込先】 福岡銀行 昇町支店 (普) 428555 RSG皆木栄人(ミナキヒト)

